



清水町では、町ぐるみで子どもたちを育てていくコミュニティ・スクールが進められています。各保育・教育現場では、子どもたちの体調管理に注意をはらいながらそれぞれの活動を進めています。

新たな年を迎え、子どもたちは希望に胸を膨らませ、寒い中でも充実した毎日を元気にすごしています。今月号においても地域の方々と子どもたちの関わりを中心に、その様子をお伝えいたします。

しみず認定こども園

「楽しい、楽しい、雪遊び！」

今年度はあまり雪が降らず、積雪量も少ないですが、子どもたちは大はしゃぎで雪遊びを楽しんでいます！

寒さに負けず、大きな雪山から勢いよくソリ滑りを楽しんだり、かまくらや雪だるまをつくったりと思い思いに遊んでいます！



雪が少ないせいか、ソリ滑りをしているとだんだん雪山から雪がなくなり、つなぎが真っ黒になっていることもあります。そんなことは関係なしにソリ滑りを楽しんでいる子どもたちです！

「たくさん雪降らないかなあ〜」「いつ雪降るの？」などの声もあるので、



もう少し雪が降ることを願って今後も友達と楽しく雪遊びを楽しみたいと思います！

御影こども園 どんど焼き🏮



年末にみんなで保育室や玩具をきれいにしたり、まゆ玉飾りをしたり、新年を迎える準備をしました。そして年が明けた15日に飾りを外し、神社まで持って行きました。

外に出て、いつもとは違う煙の臭いを感じながら、神社へ向かい、来年は小学生になる子どもたちが、無病息災を願ってどんど焼きを見してきました。どんど焼きを見たら、「元気になれる！」「頭がよくなる！」と張り切って向かった子どもたち。

帰ってきてからも「頭賢くなりますようにってお願いしてきたよ！」「かっこいい小学生になれますようにってお願いしてきた！」「どんど焼きあったかった！！」と話して聞かせてくれました。

今年もこども園の子どもたちが怪我無く、元気いっぱいにご過ごせますように。



お邪魔させていただいた神社、関係者の皆様ありがとうございました。



清水小学校

いつも子どもたちの安全を見守っていただいています

1月17日より3学期が始まり、子どもたちの歓声が学校に戻ってきました。

3学期は44日間です。子どもたちはこの間、仲間と協力しながら運動や勉強に励み、日々成長していきます。

さて、その子どもたちの登下校の安全を見守ってくださっているのが、清水っ子見守り隊と登下校ボランティア、生活環境委員会の皆さんです。子どもたちが安全に登下校できるよう、車の動きはどうか、子どもたちが交通ルールを守っているか、周囲に危険箇所はないかなど気にかけていただきながら、様子を見守ってくださっています。

おかげさまで、子どもたちは朝、元気に登下校することができています。朝のお忙しい時間にもかかわらずご協力いただき、本当にありがとうございます。これからも子どもたちの登下校の安全確保にご協力をお願いいたします。



御影小学校

地産地消によるピザづくり体験学習

11月26日満寿屋商店の杉山社長をお招きし、2年生と5年生がピザ作り体験を行いました。

清水町産の小麦粉や、農家さんから提供いただいたトマトソースを塗り、2年生の児童が秋に地域の農家さんで収穫し



たかぼちゃや、提供いただいたジャガイモ、ルッコラや水菜、さらに十勝産のサラミやチーズなど、ほぼ 100%地元産のピザを石窯で焼き、美味しさを堪能しました。

5年生は事前準備や当日のサポートで2年生を優しく支え、異学年の絆が深まる素敵な機会にもなりました。

小中合同アイスホッケー授業に挑戦

12月11日御影小6年生と御影中1年生が、小中一貫教育の一環としてアイスホッケーの乗り入れ授業を行いました。

中学生と小学生の混合グループでパス練習やミニゲームを楽しみ、清水・御影地域で盛んなアイスホッケーを体験。

アイスホッケー少年団の子どもたちの見事なスケートやプレーが印象的でした。



地域書写ボランティアの協力を受けて

6年生が条幅習字を体験



12月12日地域書写ボランティアの方々
の協力を得て、6年生が条幅習字の体験を行
いました。

児童は、自分たちで選んだ四文字熟語を題
材に、力強く、迫力のある書を完成させまし
た。

この活動は、書写ボランティアの方々が一
人ひとりに丁寧に指導してくださ
り、児童の作品が一層素晴らしいものとな
りました。

ボランティアの方々は、長年の経験を活か
して、児童の筆運びを見守り、手本を示
しながら、書道の奥深さや楽しさを伝え
てくださいました。

児童は、緊張しながらも真剣に取り組み、
力強く、迫力のある素晴らしい習字作品
が完成しました。

完成した作品は、卒業式に掲示される予
定であり、児童たちの成長の証として、
卒業生の思い出にも残ることでしょう。

また、地域の「しゃっこい祭り」でも展
示される予定で、地域の方にも児童が真
剣に書き上げた作品をご覧いただければ
幸いです。

この体験を通じて、児童は書道の魅力を再発見し、地域の方々とのつながりを深めることができました。

地域の協力により、学びの幅が広がり、児童にとって未来への思いや大切にしたい気持ちを表現できた素晴らしい時間となりました。

日本の伝統文化を体験

地域ボランティアの協力で学びの場が広がる

12月19日清水町の地域ボランティアの皆様のご協力を得て、6年生の児童が日本の伝統文化を体験する学習を行いました。

今回の体験では、茶道、琴、三味線、華道、剣舞という5つの伝統文化の内容が準備され、児童は自分の興味関心に合わせて、いずれかの活動を選んで体験しました。

この貴重な体験が実現できたのは、地域の皆様のご協力があったからこそです。

たくさんの指導者の方々が足を運んでくださり、子どもたちに直接教えていただきました。



そのおかげで、普段触れることの少ない伝統文化に触れる貴重な機会を得ることができました。

児童は、それぞれの活動場所で真剣な眼差しで取り組んでおり、茶道では礼儀作法やおもてなしの心を学び、琴や三味線では音楽の奥深さに触れ、華道では花を生ける美しさや心の平穏を感じ取ることができました。また、剣舞では日本の武道文化に触

れ、動きの美しさや力強さを体感し、伝統文化体験学習を通して、日本の歴史や良さをあらためて見つめる良い機会となりました。

清水中学校

1・3学年 音楽科 琴の授業

1学年は12月10日、3学年は12月13日に音楽科の琴の授業を行いました。

琴を清水町中央公民館からお借りし、外部講師として、清水町箏曲文杉会の渡邊 優子 氏と 残間 美樹 氏のご協力を得て実施しました。

お二人の講師からは、専門的な部分のお話や細かい技術面での指導助言をいただくことができました。各学級1時間の授業でしたが、生徒は「さくら さくら」を上手に弾けるようになっていました。



【1学年の音楽の琴の授業】



【3学年の音楽の琴の授業】

御影中学校

「命の学習」

総合的な学習の時間を活用し、学年ごとに「命の学習」を行いました。

毎年清水町の保健師の方々に講師をお引き受けいただき、テーマを1年生「生命誕生、妊婦体験」、2年生「思春期、異性との関わり方」、3年生「妊娠出産、性感染症」等について学習を深めました。

性について学ぶことにより、望ましい人間関係作りや自分を大切にすることの重要性について考える機会となりました。



【1年生 妊婦体験】



【2年生 赤ちゃん人形抱っこ体験】